

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、「第3期仙台市地域保健福祉計画 支え合いのまち推進プラン」の計画期間が令和2年度末となっていることから、令和3年度から始まる本市の次期計画策定に向け、地域福祉に関する市民の活動状況や意向、課題等を把握するために実施した。

2 調査内容

調査対象	令和元年8月1日の時点において、満16歳以上の市民から区ごとに人口や男女比率を考慮して無作為抽出した5,000人
調査方法	調査対象者に調査票を郵送し、記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送していただく郵送方式にて実施
調査期間	令和元年9月13日～令和元年10月4日
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ○調査対象者の属性（問1～10） ○地域や人とのかかわりの状況について（問11～20） ○地域で生活していく上での心配事について（問21～28） ○成年後見制度について（問29～31） ○犯罪をした人の立ち直りの支援について（問32～34） ○市の福祉施策や地域の福祉活動等について（自由記述）（問35）

3 回収結果

調査対象数	5,000人
総回収数	2,004人
有効回収数	2,002人
有効回収率	40.0%

4 報告書の見方

- (1) グラフのNとは回答数を表すものであり、設問によって異なる場合がある。
- (2) 回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても100%にならないことがある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数選択式の設問においては、各設問の回答数(N)を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- (3) 調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。